

近隣自治体との連携による主な観光の取組について

観光課では、隣接自治体である品川区、川崎市と連携し、さまざまな観光施策を実施している。新型コロナの影響による限られた財源の下、各自治体の人的資源・観光資源を持ち寄ることで、新たな魅力創出や職員力強化等の相乗効果を目指す。

1 川崎市連携事業

両都市の観光関係機関で構成される「観光まちづくり連携事業実行委員会」を中心に、共通の魅力を柱とした観光PRを行い、新たな誘客に繋げる事業を実施。

【令和3年度計画】

安全管理徹底の下、多摩川やものづくりなど共通の観光資源を活用したイベントを実施する予定。

2 大田・品川地域PR事業

本区との区境が最も長く且つ観光資源の一部を共有する品川区と連携し、近隣諸都市からの両区への誘客・にぎわいの創出を図ることを目的として事業を実施。

【令和3年度計画】

安全管理徹底の下、大田・品川の観光協会などと連携し、それぞれの地域性を活かした観光事業を展開する予定。

3 広域連携による観光プロモーション事業

羽田空港周辺エリアの認知度向上や興味・関心の喚起のため、関係自治体及び民間企業と連携し、コロナ収束後を見据えたインバウンド向の観光PRを実施。

【令和3年度計画】

(1) 神奈川県との合同プロモーション事業

外国人観光客のニーズが高いコンテンツのPR動画の制作。

(2) 大田区・品川区・川崎市3区市によるインバウンド誘致事業

各地域の特性に合わせたターゲットとなる国・地域の抽出。
インバウンド回復を見据えたウェブ・プロモーション実施。

